

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	防災・防犯対策の充実	政策(項)番号	VII
施策名(目)	交通安全対策の充実	施策(目)番号	②
担当課	総務課	担当課長	佐々木 秀之

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・町民の安心・安全を確保するため、交通事故が起きないような町にすることを目的とする。
------	--

## 2. 施策の現状分析

	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)
施策の概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者による事故が多く発生しているため、事故がないようにして欲しい。</li> <li>・痛ましい交通事故を防止するため、飲酒運転撲滅に向けた取り組みをして欲しい。</li> <li>・子供たちが事故に遭わないように街頭指導の充実を望んでいる。</li> <li>・防犯灯の設置が不足しているのもっと増やしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では、飲酒運転による事故やひき逃げを防止するため、厳罰化等の対策を講じている。</li> <li>・県では、飲酒運転根絶条例の制定や自転車の安全利用に関する条例制定を行い、また、交通安全県民総ぐるみ運動等で交通安全対策を実施している。</li> </ul>

	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
施策指標 (成果指標)	主要 交通人身事故負傷者数 (人口1万人当たり)	目標			20人	20人	20人		宮城県平均人口1万人当たり 負傷者数 57.1 人
		実績	21人	22人	25人			20人	
		達成率			—				
	参考 ① 交通物損事故発生件数 (人口1万人当たり)	目標			70件	70件	70件		70件
		実績	130件	151件	122件				
		達成率			—				
	参考 ② 町内にいる65歳以上のド ライバー数	目標			—	—	—		—
		実績	2,254人	2,359人	2,543人				
		達成率			—				
	参考 ③ 角田署管内における人身 事故に絡める高齢者の 事故件数割合	目標			15%	15%	15%		15%
		実績	25%	14%	16%				
		達成率			—				
参考 ④	目標								
	実績								
	達成率								

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		6,658千円	7,078千円	8,219千円	6,926千円	8,172千円	8,172千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	352千円	368千円	384千円	384千円	400千円	400千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		6,306千円	6,710千円	7,835千円	6,542千円	7,772千円	7,772千円
従事者数	正職員	0.40人/年	0.41人/年	0.41人/年	0.41人/年	0.32人/年	0.32人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	2,694千円	2,796千円	2,783千円	2,783千円	2,173千円	2,173千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		346千円	384千円	372千円	372千円	291千円	291千円
トータルコスト		9,698千円	10,258千円	11,374千円	10,081千円	10,636千円	10,636千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・人身事故、物損事故ともにあまり変化が見られず成果はやや低い。	
	施策成果向上の可能性	a	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・交通安全に対する運動を、学校・職場等まちぐるみで展開することにより、歩行者・運転者に注意喚起を促し交通事故の抑制は可能である。また、高齢者の交通安全講習を着実に行うことにより高齢者の事故件数も抑制は可能である。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・交通安全活動(交通安全指導隊活動)が活発になることにより、住民の交通安全意識が高揚するので交通事故という災害から身を守れるので貢献度はやや高い。		

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の関係した交通事故対策が必要となっているが、公共交通機関が整備されていない当町においては、免許証の返納を積極的に進める事も出来ず課題となっている。</li> <li>・また、交差点等の注意喚起を促す表示や、カーブミラーの整備についても、道路延長が長大である当町では、すべてに対応する事が困難であり課題となっている。</li> </ul>
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで同様、「町民総ぐるみでの交通安全活動」を継続して実施する。</li> <li>・街頭指導を継続して実施する。</li> <li>・高齢者等への交通安全教室を増やしていく。</li> </ul>
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。